

2024年度 サビエル高等学校 学校評価書

【教育方針】

愛と奉仕に生きる

～ Love and Service ～

【サビエル高等学校が目指す人間像】

自分が愛され、かけがえのない存在であることを知り、人を大切にする人

自分を越えた存在に対する畏敬の念を持つ人

真善美を求め、絶えず学び続ける人

自由に主体的に、また良心に従って判断する人

もっとも支えが必要な人に奉仕する人

異文化を理解し、共生できる人

いのちを尊び、平和を作りだす人

理事長



学校評価総括

●学校運営について、それぞれの担当部署において、目標達成のため様々な方策に取り組んだ。保護者アンケートの「知人や友人に、サビエル高校への入学を勧めたいと思う。」「この学校に入学させて良かったと思う。」という質問については、昨年同様、おおむね良好な結果となっている。生徒、保護者の満足度が、学校についての総括的な指標であり、今後についても、各項目ごとに見直しを図り、サビエル高校に対する満足度を上げていかなければならない。教科、学年、分掌等それぞれで、2024年度を振り返り、以下の反省点、気づきなどを基に、改善を図りたい。

○ループリックアンケートについて、今年度も全学年でアンケートを実施した。この評価を取り入れたことで、建学の理念をもとにした教育がどの程度達成できているかを検証する一助となっている。昨年度末から学校改革について動きが高まり、建学の理念の部分についても、今の時代、今のサビエル高校にマッチしたものにブラッシュアップした。

○学校の危機管理運営について、これまで通り運営していく。昨今の荒天への対応については、できるだけ早めの対応を心がけていく。また、新型コロナのような伝染病等についても、これまでの経験を活かし、蔓延防止に務める。

○教職員間での効果的な協力体制の構築が引き続き課題である。2024年度は、コロナ禍で二か所に分けた職員室を1か所に戻すことができ、教員間のコミュニケーションが昨年よりも大変やりやすくなったと感じる。また、昨今、教員が多忙であり、ひと昔前のような余裕がなくなってきたという意見が非常に多い。学校関係者からも、仕事の見直しについてご意見をいただいている。働き方改革の点からも改善策を出していかなければならない。次年度に向け、業務削減のため、校内起案方法、見回り業務などを改善していく。

○学校から保護者への連絡・情報提供についてはメール配信、Classiなどの利用により、大変効果があったと感じる。学校関係者の意見として、保護者が学校行事に参加しやすい工夫をされてはどうかなど、いろいろな意見もいただいた。今後、ぜひ検討していきたい。

○学校行事については、生徒主体という動きが大きくなっている。次年度はこの動きをさらに加速させていきたい。修学旅行についても、多くの生徒が希望する東京方面で実施することができた。生徒満足度アンケートの「学校行事に満足している。」は、昨年とほぼ同じ90%の生徒が「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答しているが、「そう思う」の回答が増えている。

○本校企画の海外研修について、今年度も予定どおり実施することができた。行き先はオーストラリアとして実施した。風邪で体調をくずす生徒が出たが、とてもよい研修となった。韓国聖母女子高校との交流は、4年ぶりに実施することができた。6月には本校で聖母女子の生徒を受け入れ、12月には聖母女子高校を訪れた。お互い深い関係を持つことができ、特に参加した生徒は貴重な体験ができたと感じる。また留学生受入については、今年度も、アジアからの留学生を迎え入れることができた。これらの事業はサビエル高校ならではのものである。今後も、AFS等の留学支援団体と力を合わせ取り組んでいきたい。また、昨年度からモンゴルからの短期留学生の受け入れを行っているが、今年度については、年間3回、109名の受け入れを行った。次年度も交流を計画中である。このほか、当初予定になかった韓国の高校生徒の交流も実現できた。

○広報活動については、広報部を中心として教職員全員で中学校、塾への訪問、オープンスクール、学校説明会などの企画運営に力を注いだ。2024年度は、特にInstagramの更新頻度を増やし広報活動に取り組んだ。本校公式アカウントの他、生徒会アカウントも立ち上げ、学校の様子を紹介した。理事会からの支援で始まったラジオ放送「サビエルラヂオ倶楽部」も軌道に乗り、生徒たちの活躍の場ともなっている。来年度についても、Web上での広報活動を増やし、効果的に行っていきたい。広報活動については、学校関係者からもいただいている様々なメディアを使っでの広報についても参考にしていきたい。

●学習指導に関する部分については学校の核となる部分である。関係者評価でも意見があったとおり、「そう思う」の割合を上げていく努力をしなければならない。ICT機器の活用については、今後も多様化していくことが予想される。様々な情報を得ながら、探究心を持って取り組まなければならない。

○保護者アンケートからも授業についての要望が挙がっている。保護者からの意見を授業の見直しに活かしていきたい。教職員は常に授業改善を意識しているが、まだまだ足りない部分があるのだろう。次年度に向けてさらなる努力をしていきたい。授業は学校生活の中の大半を占める部分である。これらの項目について、少しでも「どちらかといえばそう思う」ではなく、「そう思う」を増やしていけるよう見直しを図っていきたい。

○本校では、iPad端末を授業をはじめ、様々な場面で使用している。iPadの性能や容量が非常に大事な部分である。導入年度によって古いiPadがあり、それを2年生で使用していたため、2年生には不便をかけてしまった。十分な学習環境を確保するため、急遽、他端末と入れ替える措置を取り、次年度からは容量の大きな端末と入れ替えることとなった。今後についても、こういう事態が起こる可能性もある。今後はなるべく早い段階で対応措置を撮れるようにしたい。

●進路指導に関する部分について、保護者、生徒アンケートともにおおむね良好な評価となっている。これらの結果が、卒業後の進路実績にも活かせるよう努力していきたい。今年度の現役生の進路先は、国公立大学16名、私立大学41名、短期大学5名、専門学校7名、留学2名となった。特別進学コースの国公立大学進学率は約59%であった。2年ぶりに医学部医学科への進学もあった。

○進路指導に際して、積極的にICT機器が利用できてきていると感じているが、利用方法などについては今後も見直しを図っていきたい。学校関係からの意見として、ICT機器の老朽化が挙げられていた。機器の更新についてお計画的に実施していく必要がある。

○進路行事(3月に大学講師等を招き、出前授業をしていただく)を、1、2年生対象として実施している。今年度についても、幅広い分野の講師を招き、生徒の進路意識の向上を図った。進路選択のための一助となったと感じる。

○学校関係者評価の中で、「生徒募集段階からの意識づけ」の重要性を挙げられている。再来年度、大きくカリキュラムを変えていこうとしているので、このことについても併せて進めていきたい。

○地元公立大学の山口東京理科大学について、昨年度は工学部の受験希望者がいなかったが、指定校推薦枠を有効活用するため、また地元大学への進学を即すため、早期から生徒への情報提供に力を入れた結果、薬学部1名、工学部に5名の生徒が進学した。

●生徒指導に関する部分について、教員の生徒への関わり方については小規模校ならではの近い距離感があり、サビエル高校の良さの一つとなっていると感じる。生徒対応について、スクールカウンセラー、シスターにも関わっていただき多くの助言を得ることができた。

部活動については様々な問題、制約もある中、運動部、文化部ともに地道に活動している。(美術・写真部…全国総合文化祭美術・工芸部門出品 など)部活動の活性化のために教職員の意見を活かせるよう整備をしていきたい。

○学校関係者からも、部活動に

○生徒アンケートの結果からも、生徒指導面での教員間の指導の差を多少なりとも感じている生徒がいることがわかる。学校関係者からも、このことについて意見をいただいている。今後も機会あるごとに教職員間の共通理解の徹底に努めていかなければならない。

○教員の生徒への関わりについてはおおむね良好と言えるが、特に担任はその関わりが大きい。しかし、近年は、担任一人では対処が難しい場面も多くなった。学年団を中心とし、生徒支援担当、管理職が協力し対応していかなければならない。年々、生徒を取り巻く諸問題も多様化し、その関わりには特に気を配らなくてはならない。今後についても、情報共有と対応についてしっかりと協力体制をとっていきたい。

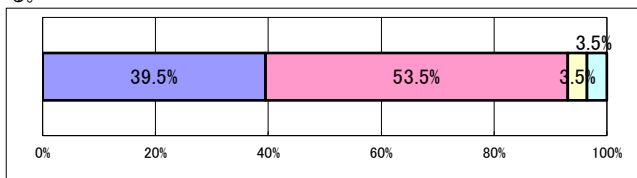
○部活動については、活動時間の確保が非常に難しくなっている。教員の業務が増えていることが要因だと思われる。学校関係者からも、教職員の役割分担の明確化などのご意見をいただいた。明確な体制を作っていきたい。そのこともあり、次年度に向けて、さらに部活動の統廃合を検討している。次年度はカリス部とインターアクトクラブの統合を考えている。

実施日: 2025年3月11～14日

対象: 生徒(全学年)

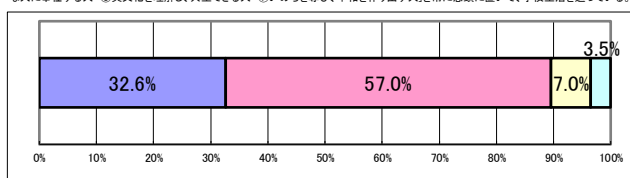
評価基準[A: そう思う B: どちらかといえばそう思う C: どちらかといえばそうは思わない D: そう思わない]

1 私は、建学の理念「愛と奉仕に生きる」を常に念頭に置いて、学校生活を送っている。



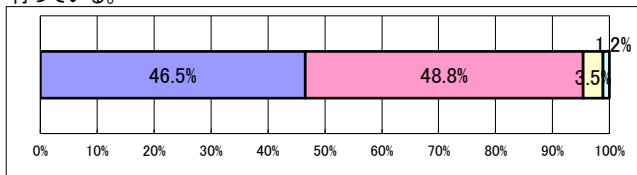
A B C D
34 46 3 3 (人)

2 私は、サビエル高校が目指す人間像(①自分が愛され、かけがえない存在であることを知り、二虎を大切にすること ②自分を超えた存在に対する畏敬の念を持つこと ③真善美を求め、絶えず学び続けること ④自由に、主体的に、また良心に従って判断すること ⑤もっとも支えが必要ない人になること ⑥異文化を理解し、共生できること ⑦いのちを喜び、平和を作り出すこと)を常に念頭に置いて、学校生活を送っている。



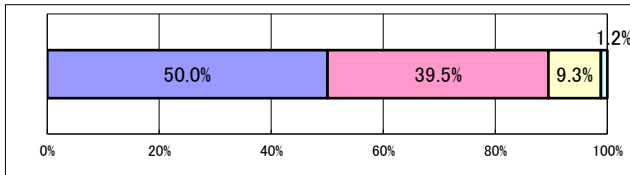
A B C D
28 49 6 3 (人)

3 学校は、生徒の安全確保を最優先し、危機管理を根拠とした運営を行っている。



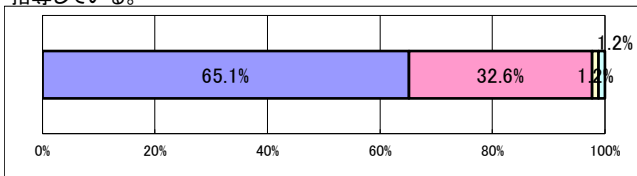
A B C D
40 42 3 1 (人)

4 学校行事に満足している。



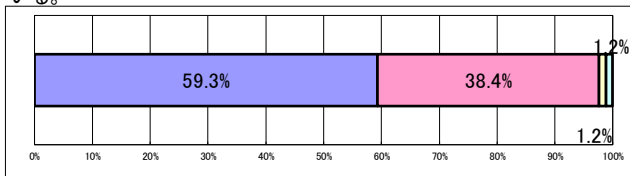
A B C D
43 34 8 1 (人)

5 学校は、ボランティア活動を通して、他者のために生きる人材となるよう指導している。



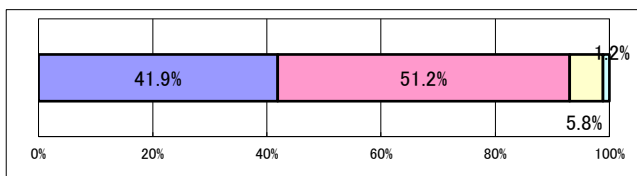
A B C D
56 28 1 1 (人)

6 学校は、国際交流活動を通して、グローバルな人材となるよう指導している。



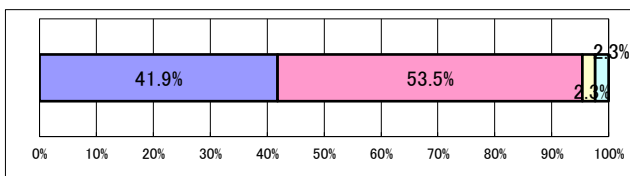
A B C D
51 33 1 1 (人)

7 先生方は興味・関心が持てる授業を行っている。



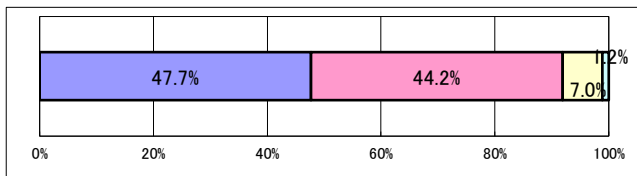
A B C D
36 44 5 1 (人)

8 先生方は熱心に解りやすい、深く考える授業を行っている。



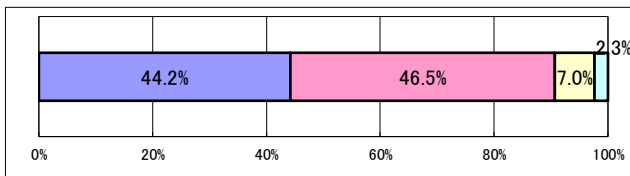
A B C D
36 46 2 2 (人)

9 私は意欲的に授業を受けている。



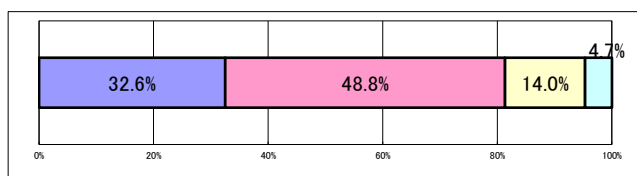
A B C D
41 38 6 1 (人)

10 私は、今の授業に満足している。



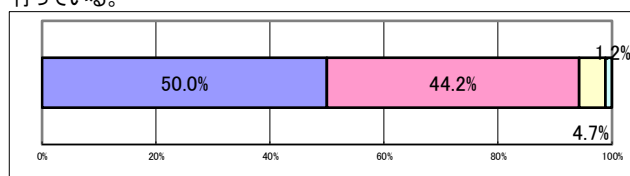
A B C D
38 40 6 2 (人)

11 私は、家庭学習の習慣が身についてきた。



A B C D
28 42 12 4 (人)

12 学校は、個別懇談等、生徒の適性や希望等を活かした進路指導を行っている。



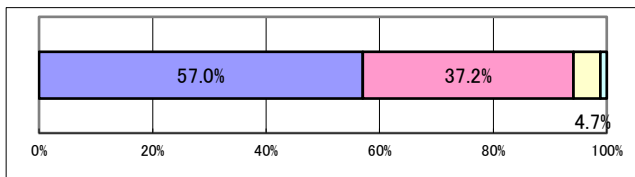
A B C D
43 38 4 1 (人)

実施日:2025年3月11～14日

対象:生徒(全学年)

評価基準[A:そう思う B:どちらかといえばそう思う C:どちらかといえばそうは思わない D:そう思わない]

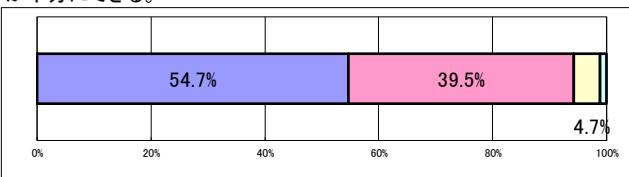
13 学校は、早期から進路に対する目標の意識づけを行っている。



A B C D (人)

49 32 4 1

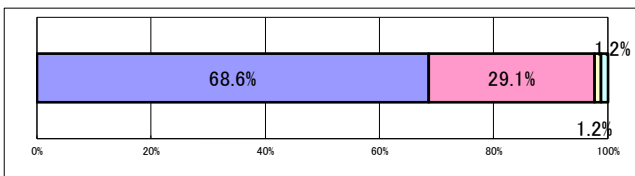
14 進路について考える際、学校内で必要な資料の閲覧、情報検索などが十分にできる。



A B C D (人)

47 34 4 1

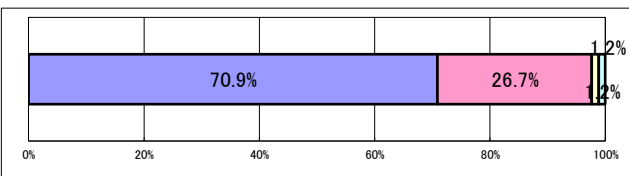
15 私は、基本的な生活マナー・交通ルールが身についてきている。



A B C D (人)

59 25 1 1

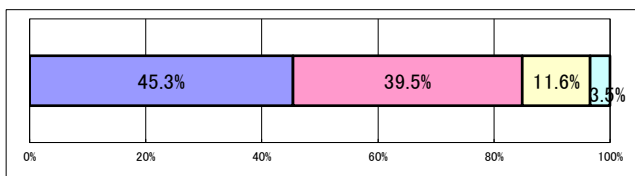
16 私は、髪型、服装などサビエル生らしい身なりをしている。



A B C D (人)

61 23 1 1

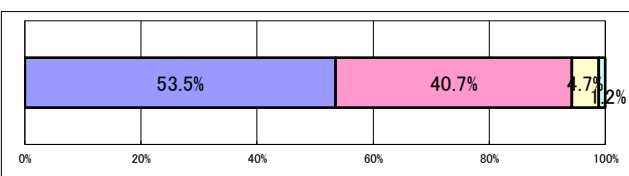
17 どの先生も同じ方針で生徒指導を行っている。



A B C D (人)

39 34 10 3

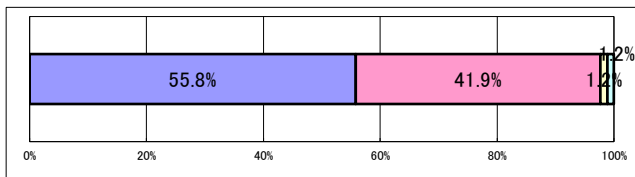
18 先生方は生徒の間違った行動に対して適切に指導している。



A B C D (人)

46 35 4 1

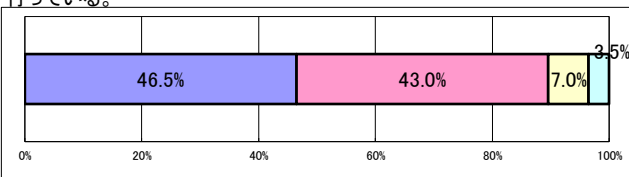
19 先生方は生徒からの相談に積極的・親身に応じている。



A B C D (人)

48 36 1 1

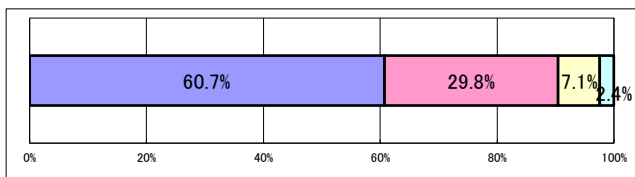
20 学校は、いじめの早期発見、防止など、いじめに対する対応を十分にしている。



A B C D (人)

40 37 6 3

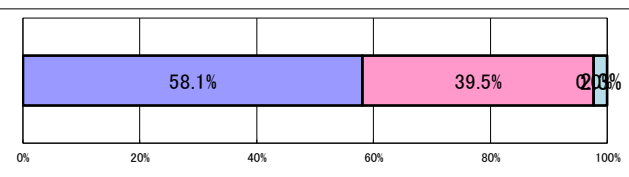
21 私が所属している部活動は、指導が十分に行われている。



A B C D (人)

51 25 6 2

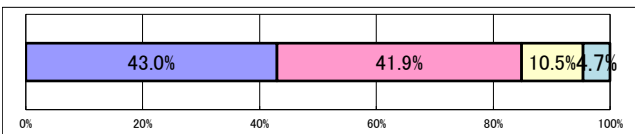
22 この学校に入学して良かったと思う。



A B C D (人)

50 34 0 2

23 知人や友人に、サビエル高校への入学を勧めたいと思う。



A B C D (人)

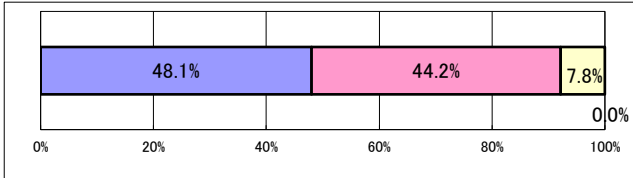
37 36 9 4

実施日: 2025年3月11日～3月31日

対象: 全学年保護者

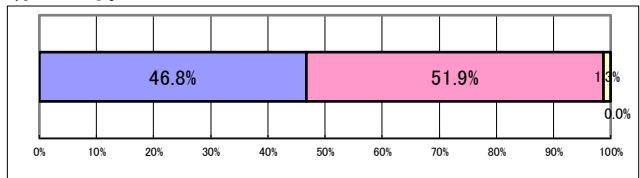
評価基準[A: そう思う B: どちらかといえばそう思う C: どちらかといえばそうは思わない D: そう思わない]

1 全校集会やホームページ等を通して建学の理念や教育方針等が生徒や保護者に伝わるようにしている。



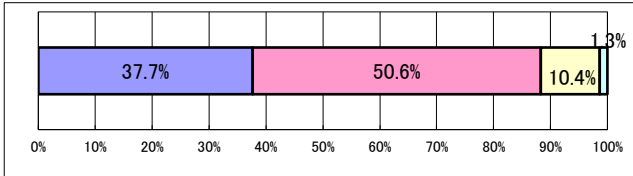
A B C D
37 34 6 0 (人)

2 学校は、生徒の安全確保を最優先し、危機管理を根拠とした運営を行っている。



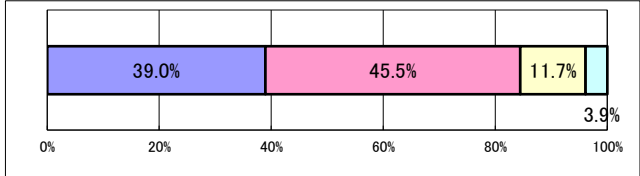
A B C D
36 40 1 0 (人)

3 学校は、保護者の話や声を聞く機会を設けている。



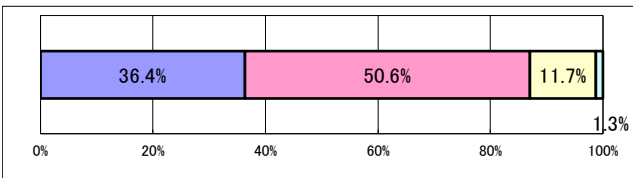
A B C D
29 39 8 1 (人)

4 学校は、生徒の話や声を聞く機会を設けている。



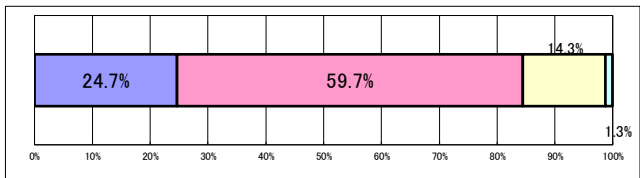
A B C D
30 35 9 3 (人)

5 学校は、保護者の要望を把握し、協力して活動している。



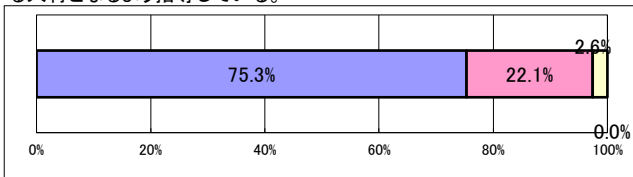
A B C D
28 39 9 1 (人)

6 学校と保護者との連携がうまく取れている。



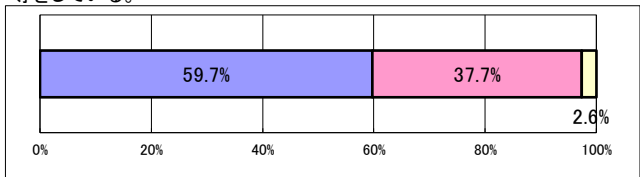
A B C D
19 46 11 1 (人)

7 学校は、ボランティア活動や国際交流活動を通して、他者のために生きる人材となるよう指導している。



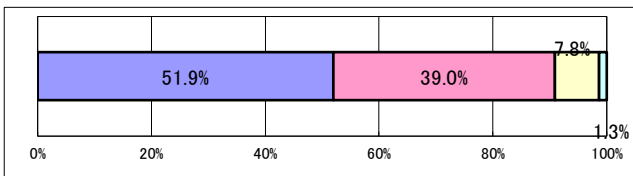
A B C D
58 17 2 0 (人)

8 学校は総合的な学習の時間や学校行事等で、様々な体験ができる指導をしている。



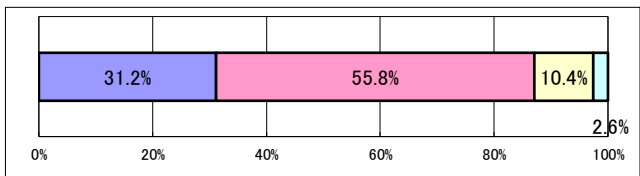
A B C D
46 29 2 0 (人)

9 学校の雰囲気がよく、子どもはいきいきと楽しく学校生活を送っている。



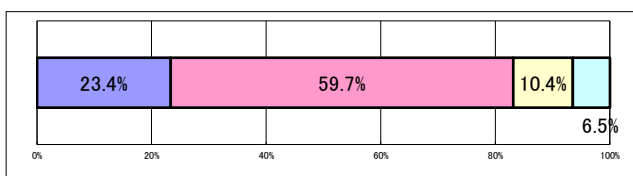
A B C D
40 30 6 1 (人)

10 学校は、生徒の興味・関心を高める授業を展開している。



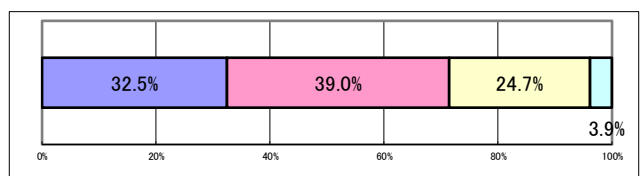
A B C D
24 43 8 2 (人)

11 子どもから「全体的に授業に満足している」と聞いている。



A B C D
18 46 8 5 (人)

12 子どもは、家庭学習の習慣が身についている。



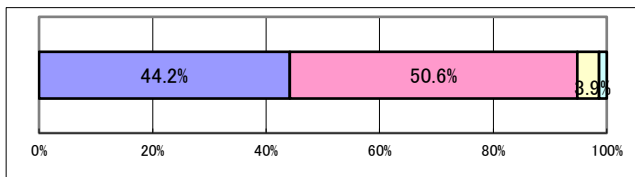
A B C D
25 30 19 3 (人)

実施日:2025年3月11日～3月31日

対象:全学年保護者

評価基準[A:そう思う B:どちらかといえばそう思う C:どちらかといえばそうは思わない D:そう思わない]

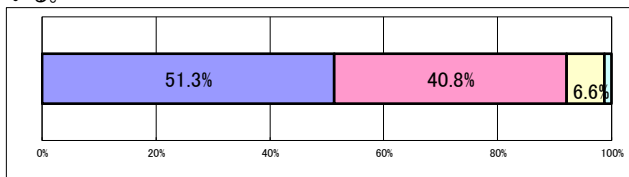
13 学校は、生徒の適性や希望等を生かした進路指導を行っている。



A	B	C	D
34	39	3	1

(人)

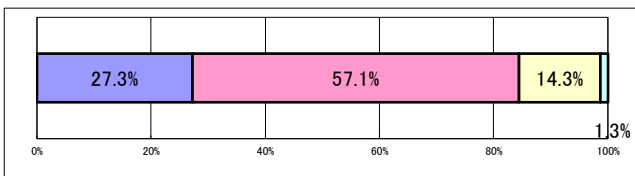
14 学校は、個別懇談等、生徒一人ひとりを大切にした進路指導を行っている。



A	B	C	D
39	31	5	1

(人)

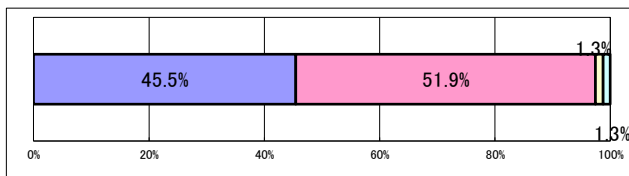
15 学校は、保護者との連携を密にした進路指導を行っている。



A	B	C	D
21	44	11	1

(人)

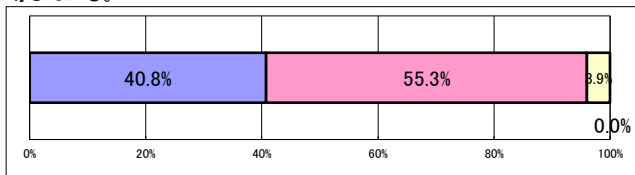
16 学校は、早期から進路に対する目標の意識づけを行っている。



A	B	C	D
35	40	1	1

(人)

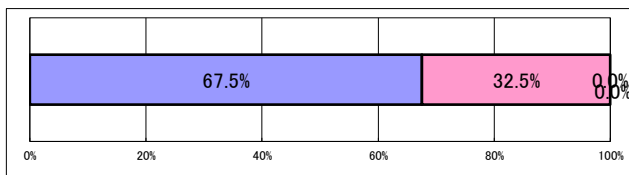
17 学校は、生徒に基本的な生活マナー・交通ルールが身につくように指導している。



A	B	C	D
31	42	3	0

(人)

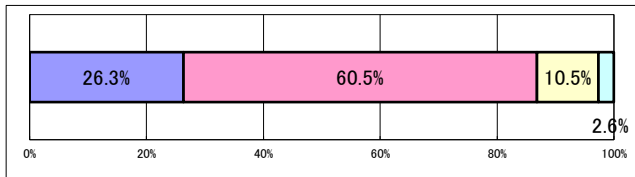
18 子どもは、髪型、服装などサビエルらしい身なりをしている。



A	B	C	D
52	25	0	0

(人)

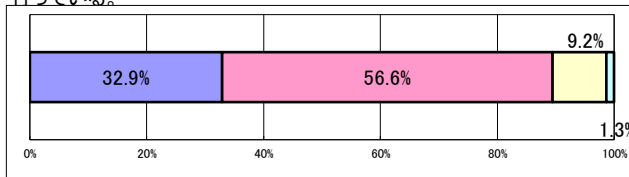
19 学校は、心身の悩みに応える指導を行っている。



A	B	C	D
20	46	8	2

(人)

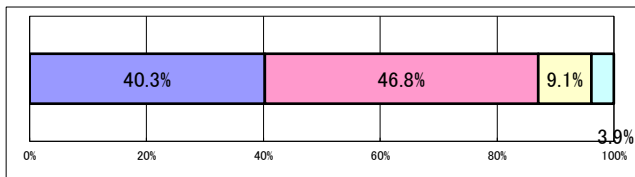
20 学校は、いじめの早期発見、防止など、いじめに対する対応を十分にしている。



A	B	C	D
25	43	7	1

(人)

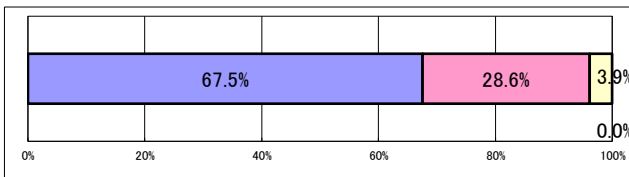
21 部活動の指導は十分に行われている。



A	B	C	D
31	36	7	3

(人)

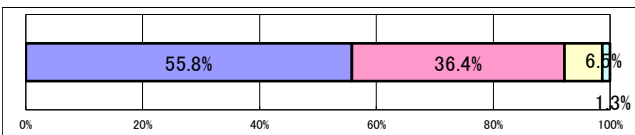
22 サビエル高校に入学させてよかったと思う。



A	B	C	D
52	22	3	0

(人)

23 知人や友人に、サビエル高校への入学を勧めたいと思う。



A	B	C	D
43	28	5	1

(人)